

事務事業評価一覧(課別)

令和7年度

保健福祉部長寿介護課 (単位:千円)

事務事業名 計:	決算額	改善方向性		シートNo.
	464,732	コスト	成果	
2212 家族介護用品支給事業	344	↑	↑	332-01
2257 シルバー人材センター運営支援事業	20,411	→	→	331-01
2258 すこやか支えあい事業	170	→	→	331-02
2259 老人クラブ連合会運営支援事業	10,662	→	→	331-03
2260 長寿祝金支給事業	21,986	→	→	331-04
2261 高齢者グループボイント事業	1,197	↑	↑	331-05
2262 いきいきチケット支給事業	78,582	↑	↑	331-06
2263 高齢者福祉手当支給事業	1,551	↑	↑	332-02
2265 生活支援ハウス運営事業	8,114	→	→	332-03
2266 老人福祉施設入所等事務	301,142	↑	↑	332-04
2267 社会福祉法人等による利用者負担額軽減制度事業	68	↑	↑	344-01
2782 エネルギー等価格高騰対策支援事業(介護施設等)	20,505	→	→	332-05

1. 基本情報								
事務事業名 2212 ー 家族介護用品支給事業								
政策名 3. やさしさ誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属		長寿介護課		
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実								
基本事業名 2. 高齢者の生活支援サービスの充実				予 算 科 目	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①地域包括支援センターを中心に、医療機関や介護サービス事業所、成年後見センター、地域包括ケア・ライフサポートワーカー等と連携し、多種多様な相談に対応できる体制を構築します。 ②高齢者が自宅や施設など望む場所で、可能な限り生活できる環境づくりを進めます。				款	03	民生費	
					項	01	社会福祉費	
					目	01	社会福祉総務費	
				事業期間		平成18年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市保健福祉事業実施要綱	
	①②高齢者		①多種多様な相談ができる ②自宅や施設など望む場所で可能な限り生活できる		関連計画		第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

高齢者等を在宅で介護している家族に対して、介護用品購入のための給付券を発行する事業。要介護3以上の高齢者又は身体障害者手帳2級以上又は療育手帳A2以上の方を在宅介護している家族で、市民税非課税世帯の方を対象とする。※対象者と申請者が別の世帯であった場合、両世帯共に非課税世帯であることが要件。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	給付券の支給登録者	給付券の支給登録者数	人	12	13	11	13
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	経済的な負担が軽減される。	利用率(利用枚数/支給枚数)	%	88	82	92	85
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		512	344	504	在宅介護における家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減を図り、在宅生活の継続に資することができた。 ・発行枚数:372枚 ・使用実績:344枚(344,000円分)
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	512	344	504	

5. 振り返り<SEE (check) >			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN) >		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	審査事務の効率化及び制度の周知を図っていく。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	

1. 基本情報								
事務事業名	2257－シルバー人材センター運営支援事業							
政策名	3. やささく誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属		長寿介護課	
施策名	3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実							
基本事業名	1. 介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①住民主体の通いの場である「地域のひろば」を拡大・充実させることで、互いに支え合う介護予防や生きがいづくりを推進します。 ②理学療法士・作業療法士などの専門職や、社会福祉協議会などの関係機関との連携を強化することで、介護予防や自立支援の体制を充実します。				算 科 目	款	03	民生費
						項	01	社会福祉費
						目	03	老人福祉費
					事業期間	平成17年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		高齢者等の雇用の安定等に関する法律	
	①高齢者・地域住民 ②介護を必要とする人		①介護予防活動に参加してもらう ②必要な支援が受けられる		関連計画		霧島市第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

霧島市シルバー人材センターは、高齢者の臨時的、短期的な就業機会を確保し、生きがいづくり・社会参加の促進を図ることを目的として市内の高齢者を会員として運営され、地域における担い手として、各種受託事業や派遣事業を実施している。当該団体における活動を支援するため、市から運営補助金を交付している。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 高齢者	65歳以上の高齢者数	人	35,217	37,163	36,008	37,492
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 生きがいをを持って働くことができる	シルバー人材センターの会員数	人	1,021	1,045	1,061	1,065
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		20,406	20,411	40,695	高齢者の就業機会の確保、生きがいづくりや社会参加の促進に繋げることができた。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	・就業機会提供及び就業機会確保 事業受託件数合計:8,629件 就業延人員:64,390人 ・訪問生活支援サービス(調理・洗濯・掃除などの生活支援)の受託 ・城山公園、都市公園等の指定管理の実施
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	20,406	20,411	40,695	

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	

1. 基本情報								
事務事業名 2258 すこやか支えあい事業								
政策名 3. やさしさ誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり			所属		長寿介護課			
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実								
基本事業名 1. 介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実			予 算 科 目	会計	01	一般会計		
基本事業の内容 (総合計画より)	①住民主体の通いの場である「地域のひろば」を拡大・充実させることで、互いに支え合う介護予防や生きがいづくりを推進します。 ②理学療法士・作業療法士などの専門職や、社会福祉協議会などの関係機関との連携を強化することで、介護予防や自立支援の体制を充実します。			款	03	民生費		
				項	01	社会福祉費		
				目	03	老人福祉費		
			事業期間		平成21年度～			
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市補助金等交付要綱ほか	
	①高齢者・地域住民 ②介護を必要とする人		①介護予防活動に参加してもらう ②必要な支援が受けられる		関連計画		第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
高齢者が住み慣れた地域で尊厳をもって健やかに安心して暮らし続けられるための先導的事業を行うもので、市社会福祉協議会に補助金を交付して実施。金婚式を迎える夫婦を招待し、結婚50年を祝福するとともに記念品を贈呈して永年の労をねぎらい、長寿を祝福することで市民福祉の向上を図る。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 金婚式を迎える夫婦	金婚式を迎える夫婦	組	58	60	44	60
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 金婚式に参加してもらう	金婚式への参加率	組	58	60	44	60
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果	
事業費(千円)		280	170	200	「合同金婚式」に夫婦揃って出席することを目標に、元気にその日を迎えようと健康意識が高まり、夫婦の絆をさらに深めることができた。また、「合同金婚式」を通し、今後の人生・生活へのさらなる意欲向上にも繋がり、高齢者福祉の増進に寄与した。 ・参加組数:44組	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
一般財源		280	170	200		

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名 2259 ー 老人クラブ連合会運営支援事業							
政策名 3. やさしく誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属		長寿介護課	
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実							
基本事業名 1. 介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①住民主体の通いの場である「地域のひろば」を拡大・充実させることで、互いに支え合う介護予防や生きがいづくりを推進します。 ②理学療法士・作業療法士などの専門職や、社会福祉協議会などの関係機関との連携を強化することで、介護予防や自立支援の体制を充実します。			算 科 目	款	03	民生費
					項	01	社会福祉費
					目	03	老人福祉費
				事業期間		平成17年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市補助金等交付規則・霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	①高齢者・地域住民 ②介護を必要とする人		①介護予防活動に参加してもらう ②必要な支援が受けられる		関連計画		
				第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画			

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

霧島市老人クラブ連合会では、高齢者が主体性をもって、高齢者の介護予防、生きがいづくり、社会参加の促進を目的として、スポーツ活動、奉仕活動、地域の見守り活動などを行っている。当該団体における活動を支援するため、市から運営補助金を交付している。

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	霧島市老人クラブ連合会、各単位老人クラブ会員	老人クラブ連合会会員数	人	3,845	3,845	3,641	3,641
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	老人クラブの活動を活性化させる	老人クラブ連合会会員数／65歳以上人口	%	11	12	10	10
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		10,997	10,662	10,965	霧島市老人クラブ連合会に補助金を交付し、連合会及び単位老人クラブの活動支援を行うことにより、元気で意欲のある高齢者が、これまで培った知識や経験等を活かし、地域活動やスポーツ大会など様々な場面での活躍が増え、本人の健康増進はもとより、支え手側として地域包括ケアの推進が図られた。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	5,637	5,560	5,560	
	地方債	0	0	0	
	その他	5,360	5,102	5,405	
	一般財源	0	0	0	

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報									
事務事業名		2260 ー 長寿祝金支給事業							
政策名		3. やさしさ誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり			所属		長寿介護課		
施策名		3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実							
基本事業名		1. 介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実			予 算 科 目		01 一般会計		
基本事業の内容 (総合計画より)		①住民主体の通いの場である「地域のひろば」を拡大・充実させることで、互いに支え合う介護予防や生きがいづくりを推進します。 ②理学療法士・作業療法士などの専門職や、社会福祉協議会などの関係機関との連携を強化することで、介護予防や自立支援の体制を充実します。					03 民生費		
					01 社会福祉費				
					03 老人福祉費				
					事業期間		昭和32年度～		
基本事業の対象・意図		対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市長寿祝金支給条例	
		①高齢者・地域住民 ②介護を必要とする人		①介護予防活動に参加してもらう ②必要な支援が受けられる		関連計画		第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
長寿を祝うため、年度中に満88歳、満95歳及び満100歳の基準年齢に到達する方に長寿祝金を支給し、100歳の方には祝金と併せて祝状を贈呈する。また、市内男女最高齢者には、祝状及び記念品を贈呈する。(1回限り)							

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 当該年度中に満88、95、100歳になる方	長寿祝金を受けることが出来る対象者数	人	1,105	1,160	1,110	1,011
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 長寿へ意欲を向上させる	受給率(受給人数/対象者数)	%	100	100	100	100
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果	
事業費(千円)		23,213	21,986	21,279	長寿祝金を支給することにより、88歳、95歳、100歳の年齢の方の長寿を祝福し、敬老の意を表することで、対象者の長寿及び健康への意欲向上が図られた。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	(支給対象)、(支給人数)、(支給総額) ・88歳(1万円)、774人、7,740,000円 ・95歳(3万円)、280人、8,400,000円 ・100歳(10万円)、56人、5,600,000円 ・最高齢者祝状及び記念品 24,200円(記念品代) ・支給総額:21,764,200円(記念品代含む。) ・令和7年度は最高齢者(女性)に変更があり、祝状及び記念品を贈呈した。 ・総事業費:21,985,587円(消耗品費等の経費を含む。)	
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	23,213	21,986	21,279		

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報								
事務事業名 2261 高齢者グループポイント事業								
政策名 3. やさささ誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属		長寿介護課		
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実								
基本事業名 1. 介護予防の推進と高齢者の生きがいづくりの充実				予 算 科 目	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①住民主体の通いの場である「地域のひろば」を拡大・充実させることで、互いに支え合う介護予防や生きがいづくりを推進します。 ②理学療法士・作業療法士などの専門職や、社会福祉協議会などの関係機関との連携を強化することで、介護予防や自立支援の体制を充実します。				款	03	民生費	
					項	01	社会福祉費	
					目	03	老人福祉費	
				事業期間		平成26年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市高齢者グループポイント事業実施要綱	
	①高齢者・地域住民 ②介護を必要とする人		①介護予防活動に参加してもらう ②必要な支援が受けられる		関連計画		第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
地域の互助活動を活性化し、高齢者を地域全体で支える地域包括ケアの推進を図るために、市内に住所を有する5名以上(うち半数以上が65歳以上)の方で構成されるグループが行ったボランティア活動に対し、ポイントを付与し、貯まったポイントを交付金と交換する。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 65歳以上の方	65歳以上の人口	人	35,217	37,163	36,008	37,492
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 高齢者がボランティア活動を通じて、自身のいきがいをを感じる	ボランティアグループで活動する高齢者の数	人	85	110	91	110
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		1,529	1,197	1,348	登録のある9グループから、合計420ポイント分(420,000円)の交付金申請があり、地域の互助活動が活性化するとともに、自身の生きがいづくりや地域への貢献、介護予防などにも繋がった。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	674	620	934	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	855	577	414	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	今後も65歳以上の人口増加が見込まれるため、事業周知を図りながら、新たなグループの掘り起こしを行い、地域全体で支え合う地域包括ケアの推進を図る。	
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充		

1. 基本情報								
事務事業名 2262 ― いきいきチケット支給事業								
政策名 3. やさしく誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属		長寿介護課		
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実								
基本事業名 1. 介護予防の推進と高齢者の生きがいがづくりの充実				予 算 科 目	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①住民主体の通いの場である「地域のひろば」を拡大・充実させることで、互いに支え合う介護予防や生きがいがづくりを推進します。 ②理学療法士・作業療法士などの専門職や、社会福祉協議会などの関係機関との連携を強化することで、介護予防や自立支援の体制を充実します。				款	03	民生費	
					項	01	社会福祉費	
					目	03	老人福祉費	
				事業期間		昭和49年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市いきいきチケットの交付に関する条例	
	①高齢者・地域住民 ②介護を必要とする人		①介護予防活動に参加してもらう ②必要な支援が受けられる		関連計画		霧島市第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
高齢者等の健康保持と福祉の増進を図るために、70歳以上の方又は身体障害者手帳、療育手帳、もしくは精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方を対象として、温泉・市営プール・バス・タクシー利用券、はり・きゅう・あん摩マッサージ利用券を交付する。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	70歳以上の高齢者、身体障害者手帳等の交付を受けている方	交付対象者数	人	32,811	33,500	33,105	33,600
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	高齢者等の健康保持と福祉の増進が図られる	温泉・市営プール・バス・タクシー利用券の利用率(利用枚数/交付枚数)	%	69	72	67	72
イ	高齢者等の健康保持と福祉の増進が図られる	はり、きゅう、あん摩マッサージ利用券の利用率(利用枚数/配布枚数)	%	26	30	26	30
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		78,422	78,582	84,052	はり・きゅう・あん摩マッサージ利用券、温泉・市営プール・バス・タクシー利用券を支給したことにより、本人の外出機会が創出され、健康維持・促進が図られた。
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0	0	■はり・きゅう・あん摩マッサージ利用券 交付枚数:171,330枚(17,133冊分) 利用枚数:45,376枚 支払額:22,688,000円 ■温泉・市営プール・バス・タクシー利用券 交付枚数:1,597,760枚(19,972冊分)利用枚数:1,073,434枚 支払額:53,671,700円
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	12,337	12,640	11,752	
	一般財源	66,085	65,942	72,300	

5. 振り返り<SEE (check) >			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN) >		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	高齢者等の健康保持と福祉の増進のため、効果のある事業となるよう、市のスポーツ施設の利用拡充等を図り、利用率の向上に努める。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	

1. 基本情報							
事務事業名 2263 ー 高齢者福祉手当支給事業							
政策名 3. やさしさ誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属		長寿介護課	
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実							
基本事業名 2. 高齢者の生活支援サービスの充実				予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①地域包括支援センターを中心に、医療機関や介護サービス事業所、成年後見センター、地域包括ケア・ライフサポートワーカー等と連携し、多種多様な相談に対応できる体制を構築します。 ②高齢者が自宅や施設など望む場所で、可能な限り生活できる環境づくりを進めます。			算 科 目	款	03	民生費
					項	01	社会福祉費
					目	03	老人福祉費
				事業期間		平成18年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市高齢者福祉手当支給条例
	①②高齢者		①多種多様な相談ができる ②自宅や施設など望む場所で可能な限り生活できる		関連計画		霧島市第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

在宅寝たきり高齢者または重度の認知症高齢者を長期にわたり介護している方の労をねぎらうとともに、寝たきり高齢者等の福祉の増進及び親族の扶養意識を高めることを目的に月額3,000円の福祉手当を支給する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 寝たきり高齢者等を6か月以上在宅介護している親族	申請者数	人	73	66	81	70
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 介護者の慰労と介護意識の高揚を図る	支給率(支給者数／申請者数)	%	100	95	100	95
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		1,653	1,551	1,676	支給対象者である要介護3以上または重度の認知症であり要介護2以上の高齢者を長期にわたり在宅で介護している方に対して、上期と下期の年2回支給しており在宅生活継続の一助となった。 ・支給延人数:122人
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	1,653	1,551	1,676	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	現行制度のもと、出前講座等による制度の周知やケアマネジャー等と連携を図り、在宅生活への支援を行う。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	

1. 基本情報								
事務事業名 2265 ー 生活支援ハウス運営事業								
政策名 3. やさしさ誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属		長寿介護課		
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実								
基本事業名 2. 高齢者の生活支援サービスの充実				予 算 科 目	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①地域包括支援センターを中心に、医療機関や介護サービス事業所、成年後見センター、地域包括ケア・ライフサポートワーカー等と連携し、多種多様な相談に対応できる体制を構築します。 ②高齢者が自宅や施設など望む場所で、可能な限り生活できる環境づくりを進めます。				款	03	民生費	
					項	01	社会福祉費	
					目	03	老人福祉費	
				事業期間		平成17年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市生活支援ハウス運営事業実施要綱	
	①②高齢者		①多種多様な相談ができる ②自宅や施設など望む場所で可能な限り生活できる		関連計画		第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
居宅において生活することに不安のある本市に住所を有する60歳以上の一人暮らしの方などへ、必要に応じ住居を提供し、高齢者等が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援する。また、利用者に対する各種相談、助言を行うとともに緊急時の対応や利用者と地域住民との交流を図るため各種事業及び交流のための場の提供を行う。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	独立して生活することに不安がある概ね60歳以上の独居者等	年度末入所者数	人	10	10	10	10
	イ			0	0	0	0
	ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	生活支援ハウスに入居し、健康で明るい生活を送る事ができる	生活支援ハウスでの生活に不満がある人数	人	0	0	0	0
	イ			0	0	0	0
	ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果		
事業費(千円)		7,267	8,114	8,114	定員10名に対し10名の利用があり、住居や介護支援、交流の場を提供することにより、安心して健康で明るい生活が送れるよう支援することができた。		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	830	1,266	1,308			
一般財源		6,437	6,848	6,806			

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>			
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報								
事務事業名 2266 ー 老人福祉施設入所等事務								
政策名 3. やさしく誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属		長寿介護課		
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実								
基本事業名 2. 高齢者の生活支援サービスの充実				予 算 科 目	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①地域包括支援センターを中心に、医療機関や介護サービス事業所、成年後見センター、地域包括ケア・ライフサポートワーカー等と連携し、多種多様な相談に対応できる体制を構築します。 ②高齢者が自宅や施設など望む場所で、可能な限り生活できる環境づくりを進めます。				款	03	民生費	
					項	01	社会福祉費	
					目	03	老人福祉費	
				事業期間		昭和38年度～		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		老人福祉法	
	①②高齢者		①多種多様な相談ができる ②自宅や施設など望む場所で可能な限り生活できる		関連計画		第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
心身、環境かつ経済的な理由から自宅で生活することが困難な65歳以上の高齢者を養護老人ホームに入所措置し、住まいや食事等を提供することにより、心身の健康の保持と生活の安定を図る。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	独立して生活する事に不安がある高齢者で入所希望者	年度末被措置者数	人	121	118	127	132
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	入所者に生きがいをもって楽しく生活してもらう	施設の生活に対する苦情件数	件	0	0	0	0
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		267,849	301,142	324,155	生活環境や経済的な問題を抱えた高齢者を、適切に養護老人ホームへ措置入所を行うことで、安定した生活が送れるよう支援することができた。 ・入所者数:33人 ・退所者数:27人 ※令和8年3月31日現在措置者数(養護老人ホーム):127人
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	50,591	63,670	68,270	
一般財源		217,258	237,472	255,885	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	支援を必要とする対象者が取り残されることがないよう、地域包括支援センター等の関係機関と連携しながら、制度の周知を図り、入所を必要とする方の支援に努める。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	

1. 基本情報							
事務事業名		2267 ー 社会福祉法人等による利用者負担額軽減制度事業					
政策名		3. やさしさ誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり			所属		長寿介護課
施策名		4. 共生する地域社会の実現					
基本事業名		4. 社会保障制度の円滑な運営			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①医療保険においては健診や保健指導、生活習慣病の予防等に関する事業を実施し、医療費の適正化に努めます。 ②介護保険においては保険料の適切な設定を行い、サービス提供の質の向上や介護給付費の適正化に努めます。 ③国民年金の資格届出等の適正な処理や相談業務、制度周知等を実施し、市民の年金受給権確保に努めます。	算	科	項	目	03 民生費	
						01 社会福祉費	
						03 老人福祉費	
						事業期間	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)			根拠法令 条例等		霧島市社会福祉法人等介護保険利用者負担額の軽減制度実施要綱
	①国民健康保険と後期高齢者医療保険の被保険者 ②介護保険事業 ③国民年金対象者	①医療費の適正化に取り組んでもらう ②円滑に運営される ③制度を理解してもらう			関連計画		第10期高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

低所得で生計が困難である者に対して、介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等が、その役割を踏まえて利用者負担を軽減した額の一部を市が助成する制度。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア 介護保険サービスを利用している低所得者	負担減免申請件数	件	1	2	1	2
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア 利用額を軽減する	負担減免金額	千円	54	66	68	54
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		54	68	54	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	40	51	40	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	14	17	14	

・助成法人数: 1か所

法人に対し助成を行ったことで、低所得で生計が困難な対象者の負担軽減につながった。

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	社会福祉法人等へ本制度の周知を行い、制度の理解度を高めるとともに利用促進を図る。
② コスト(予算)の方向性	

1. 基本情報								
事務事業名 2782 エネルギー等価格高騰対策支援事業(介護施設等)								
政策名 3. やさしさ誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり				所属 長寿介護課				
施策名 3. 高齢者が地域で自分らしく暮らし続けられる環境の充実								
基本事業名 2. 高齢者の生活支援サービスの充実				予 算 科 目	会計 01	一般会計		
基本事業の内容 (総合計画より)	①地域包括支援センターを中心に、医療機関や介護サービス事業所、成年後見センター、地域包括ケア・ライフサポートワーカー等と連携し、多種多様な相談に対応できる体制を構築します。 ②高齢者が自宅や施設など望む場所で、可能な限り生活できる環境づくりを進めます。				款 03	民生費		
					項 01	社会福祉費		
					目 01	社会福祉総務費		
				事業期間		単年度のみ		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		①霧島市エネルギー等価格高騰対策支援事業(介護施設等)給付金交付要綱	
	①②高齢者		①多種多様な相談ができる ②自宅や施設など望む場所で可能な限り生活できる		関連計画		特になし	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰の影響を受けた市内の介護施設等に対し、給付金を交付する。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R6(実績)	R7(見込)	R7(実績)	R8(見込)
ア	市内の介護施設等	提供サービス数	件	237	279	249	0
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R6(実績)	R7(目標)	R7(実績)	R8(目標)
ア	令和6年4月1日以前から運営されている事業所の継続	給付金支払金額	万円	2,005	2,235	2,045	0
イ				0	0	0	0
ウ				0	0	0	0

3. 事業費推移		R6(決算)	R7(決算)	R8(予算)	4. 令和7年度の実績・成果
事業費(千円)		20,050	20,505	23,410	経費が増大している事業者に対し給付を行うことで、物価高騰の負担軽減を図り、事業者の健全で安定した運営を支援することができた。 ・給付件数: 249件 ・給付総額: 20,450,000円
財源内訳	国庫支出金	15,037	19,903	17,500	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	4,800	
	一般財源	5,013	602	1,110	

5. 振り返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できる
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和8年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	